

日本福祉大学

山形最上オフィス通信

第15号 発行日：2015年1月31日

目次

- 1) 2015年を迎えて
- 2) 在学生インタビュー
- 3) エッセイコンテスト
- 3) 通信教育部出願受付中
- 4) 入試情報
- 4) 日福の新たな取り組み

2015年を迎えて

— 東北と大学を結ぶ「懸け橋」の今後 —



皆さま、2015年も山形最上オフィスをどうぞよろしくお願いいたします。山形最上オフィスは2009年に開設し、早や7年目に突入しました。東北の皆さまと大学を結ぶ懸け橋となり、入学前から卒業後まで多岐にわたる支援、講座や研修会・人材育成事業を通じた地域貢献等、これまでに取り組んできた様々な活動を更に強化して参りたいと思います。

1月に入り、大学入試センター試験や、社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士といった国家試験等、次々と重要な試験期を迎えています。日本福祉大学でもいよいよ一般入試やセンター試験利用入試が始まりました。2月3日～5日に実施される一般入試 前期日程では、全国27か所に試験会場を設けており、東北では宮城県・秋田県・山形県にて受験が出来ます。受験生の皆さん、寝る間も惜しんで勉強に励んでいると思いますが、身体が資本ですので体調管理に気を付けながら、普段の実力が思う存分発揮できるよう頑張ってください。

2014年度は、1月末現在まで青森県37校、岩手県63校、宮城県66校、秋田県58校、山形県58校、福島県75校と東北全体で357校にもものぼる高校へ訪問し、進路指導や担任の先生方へ本学の紹介、入試の案内を行ってきました。お話する中で見えてくる現状は、能力や意欲がある生徒はたくさんいるものの、経済状況によって進路が限られてしまうという大変厳しいものでした。文科省の学校基本調査で発表された「都道府県別の大学進学率」でも、東北の進学率は下位という結果。さらに年々地元志向が強くなっていることもあり、東北地域から愛知県知多半島への大学進学は容易ではありません。そんな状況であるからこそ、オフィスでは「福祉を学びたい」意欲ある方を応援しています。本学では、挑戦する意欲と家計等の暮らしの状況から選考する支援制度のほか、初めての一人暮らしを安心・安全面からサポートする指定アパート制度を設けています。大学進学を諦める前に、是非ご相談ください。



一人暮らしを安心・安全面からサポートする指定アパート制度を設けています。大学進学を諦める前に、是非ご相談ください。

大学では現在、10月31日付で認可された看護学部の開設と、東海キャンパス新設に向けた準備が着々と進んでいます。1月6日には竣工式が執り行われ、大学や東海市関係者など約100名が出席しました。丸山理事長は、「新キャンパスを拠点に、地域に根差しつつ世界的に展開する大学に」と挨拶され、式終了後には出席者たちでキャンパス内を見学しバリアフリーや防災に配慮した施設の機能性や安全性を確認しました。



2015年は、東海キャンパス開設と同時に、半田キャンパスも開設20周年を迎える年でもあります。私たちは、「ふくしの総合大学」としての発展充実に努め、先人たちの建学の精神を引き継ぎながら、これからも日本の福祉とともに歩んでいきます。

在学生インタビュー

今回は一気に2人をご紹介します。（※内容はインタビューを実施した5月末頃のものとなっております。）まだこのコーナーに載っていない在学生の皆さんは、ぜひインタビューにご協力ください！



精神保健福祉士になりたいと思っていた私に、担任の先生が日福を紹介してくれたことが入学のきっかけでした。

サークルはフォークソング部に入っています。先輩後輩に関わらずみんな仲がいいです。私はドラム担当で大学祭などの場で演奏しています。スーパーでのアルバイトの他に、施設での日常生活支援業務もたまに行っています。これまでの大学生活を振り返ってやっておけば良かったと思うのは、「勉強をもっと頑張れば良かった！」ということですかね。

入学当初は遊佐町へUターン就職を考えていましたが、過ごそうちに愛知県で就職したい気持ちに変わりました。いずれ遊佐町に戻るのかどうかはまだわかりませんが、まず社会福祉士の資格を取ったのちに精神保健福祉士も取得し活躍したいと思っています。

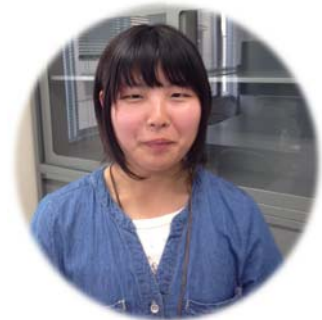
勉強ももちろん大切ですが、知識だけではなく実際に体験することが大事だと感じているので、高校生の皆さんにはボランティア活動などにも力を入れてほしいと思います。

（社会福祉学部 社会福祉学科 4年 仲鉢 芙美さん）

私は小学校のころ、障害者に関わるボランティアに参加したことがきっかけで福祉の道を志すようになり、高校で始めたアーチェリーを大学でも続けたかったので、日本福祉大学を選びました。

アーチェリーの他にも家庭教師のバイトと、日曜のみですが接客業もしているため、忙しい大学生活を送っています。

2年次からは「福祉社会コース」を選択しています。ゼミで出身地を調査した際、庄内町の高齢化率が全国平均よりも高いと知り、危機感を覚えました。卒業後は地元に戻り公務員になりたいと思っていますが、社会福祉士の資格も取りたいので、これから公務員・社会福祉士の両試験に向けて力を入れて取り組んでいきたいと思っています。



高校生の皆さん、部活にしても勉強にしても「頑張っただけ損した」ということはないで、やりたいことをやって充実した毎日を送ってくださいね。あっという間に過ぎてしまう時間を大切に過ごしてください。

（社会福祉学部 社会福祉学科 3年 鶴巻 侑香さん）

.....2014年度「課外活動奨励賞」.....

日本福祉大学ではスポーツや学術文化、地域貢献活動等の課外活動においてすぐれた成果をあげた学生個人やサークル・団体を表彰しています。この制度は、学生の保護者や法人により組織される日本福祉大学後援会が行う課外活動助成に基づく支援であり、12月20日（土）に美浜キャンパスにて授与式が開催されました。

会場には学生やサークル顧問などおよそ200人が参加し、2部構成の式典が始まりました。第1部は日本福祉大学後援会課外活動援助事業の贈呈授与式が、第2部では学長賞・学生部長賞表彰が行われました。

第2部スポーツ活動や学術文化、地域貢献活動ですぐれた成果をあげた個人やサークル、団体が受賞しました。学長表彰（団体）を受賞した硬式野球部や、学生部長表彰（団体）を受賞したアーチェリー部には、東北出身の学生も多く所属し、サークル活動に励んでいます。

高校生福祉文化賞エッセイコンテスト 36℃の言葉。

高校生に福祉を見つめなおしてもらうことを願って、日本福祉大学と朝日新聞社が主催の「高校生福祉文化賞エッセイコンテスト」が2003年度から行われています。2014年度第12回では、応募総数9,511点のうち東北から698点もの応募があり、3名の作品が入賞しました。また、学校賞3校のうち青森県立三本木高校が選ばれました。

第一分野 人・家族とのふれあい 優秀賞 「父のように」 聖ウルスラ学院英智高校3年 川村 美侑さん

第二分野 わたしが暮らすまち 優秀賞 「眠っているまち。」 青森県立三本木高校1年 小笠原 咲さん

第三分野 日常のなかでつながる世界 審査員特別賞 「やすみっこー方言から広げてー」

青森県立八戸西高校2年 川原 卓さん

学校賞 青森県立三本木高校



第62回福祉大学祭が行われた11月16日、美浜キャンパスで授賞式が開催され、全国から入賞者とご家族や先生が集まりました。授賞式では審査経過と作品講評が述べられ、受賞者一人ひとりに二木学長より表彰状と副賞が手渡されました。入賞者と先生からは、お一人ずつ喜びの声と応募作品への思いやエピソード等が紹介されました。

受賞された皆さん、おめでとうございます。入賞作品は本学ホームページでご覧いただけます、また、冊子となった「入賞作品集」もございます。

ご希望の方は山形最上オフィスまでご連絡ください。

【先見 × 先端】 通信教育部2015年度入学生出願受付中！

1月31日に宮城県仙台市にて、通信教育部の入学説明会を行いました。大変多くの方にご参加いただき、ありがとうございました。ご自身のケースだと編入学年や学費はどうなるのか、またパンフレットを読んだだけではわからないところ等のご質問、働きながら学ぶことへの不安や心配といったご相談をお受けしましたが、皆さんの疑問解決やお力添えになれば幸いです。入学説明会以外でも、電話やFAX、メールでのご相談・ご質問にも対応しておりますのでお気軽にお問い合わせください。



先日、1月24日の朝日新聞(全国版)に広告が掲載されていたので、ご覧になった方も多いのではないかと思います。本学通信教育部は「福祉」という言葉がなかった時代から福祉教育を行ってきた先見性とタブレットで受講可能な先端性を兼ね揃えています。10代～80代の幅広い年齢層で、東北地域では約100名、全国各地では約7,000名の学生がともに学んでいます。



社会福祉士・精神保健福祉士の合格者数が第1位という実績や、全国の通信制大学の平均14.0%を大きく上回る51.6%という卒業率の高さ、ライフスタイルに合わせて効率よく学習できるインターネットを活用した学習システム等が特徴です。

現在、2015年度入学生の出願受付中です。ご入学を希望される方は、出願手続要項をお取り寄せいただき、必要事項について充分ご確認の上、ご出願ください。皆さまのご出願をお待ちしております。

- | | |
|------------------|--|
| 【正科生・科目等履修生・特修生】 | 第1期 2014年12月1日～2015年1月20日 終了しました |
| | 第2期 2015年1月21日～2015年2月28日 現在受付中 |
| | 第3期 2015年3月1日～2015年3月31日 |
| 【 科目等履修生 ・ 特修生 】 | 第4期 2015年4月1日～2015年8月31日 |

■入試情報■

部活動推薦入試は2月、一般入試・センター利用入試は3月が**最終試験**となります。期日に余裕を持っての書類準備・出願をお願いします。一般入試・センター利用入試は前期日程に引き続き、後期日程も持参割で出願できますのでご利用ください。※ 一般入試 後期日程では、東北地域に受験会場はありませんのでご注意ください。

入試区分	・スポーツ推薦入試 後期 ・文化芸術系部活動推薦入試 後期	一般入試 後期 M方式(2教科型) センタープラス方式	センター試験利用入試 後期 2教科型
出願期間	2月9日～2月16日	2月16日～3月2日	
試験日	2月22日	3月9日	—
合格発表	2月27日	3月16日	

日本福祉大学の新たな取り組み

～国際貢献に繋がるワン・アクション～



日本福祉大学では、受験生の皆さまからの出願数に応じて、発展途上国の子どもたちへワクチンを届ける「国際協力出願」を昨年度より行っています。1出願に対して子ども一人分の1ワクチンを寄付します。昨年は5,763人分のポリオワクチンを届けました。



今年度新たに始める「One Action Project」は、送られた写真1枚につき子ども一人分の1ワクチンを寄付するというものです。このプロジェクトは全国どこからでも、どなたでも参加することができます。ぜひご参加ください。

方法は以下の通りです。

(1)人差し指を立てて、撮影をする

(2)撮影した写真を、大学(action@ml.n-fukushi.ac.jp)へメールで送るか、Twitterでハッシュタグ「#ワンアクション」と付けて投稿する



「国際協力出願」「One Action Project」どちらも「認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを日本委員会 (JCV)」の活動を応援するプロジェクトです。活動を通じて国際貢献をもっと身近に感じてほしい、日福発の世界を少しでも良くする第一歩として、在学生や賛同いただける皆さんと踏み出していきたいと考えています。

日本福祉大学 山形最上オフィス

〒999-6101 山形県最上郡最上町大字向町674 最上町立中央公民館内
 電話：0233-43-9232 メール：yamagatabc@ml.n-fukushi.ac.jp
 Open：火曜～土曜 10:00～18:00 Close：日曜 月曜 祝日